

# 国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

山形



山形県長井市

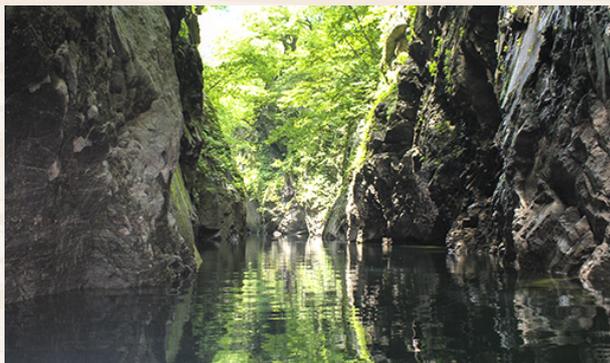
置賜森林管理署

長井市は、山形県南部に位置し、東に出羽丘陵を眺め、西に朝日連峰の南端にあたる葉山連山に囲まれた盆地地帯です。四季折々に美しい姿を見せる山々から湧き出る伏流水は、田畑を潤し豊かな暮らしを育んできました。まちのすぐそばに雄大で美しい自然があり、市民に安らぎを与えています。

「長井」の地名の由来は水の集まる場所。その名が示すように朝日山系を源とする野川、飯豊山系を源とする白川、市の南北を貫流する最上川の3つの河川がまちを囲むように流れています。野川の上流には長井ダムがあり、そのダム湖は「ながい百秋湖」と呼ばれ、周辺の美しい景色が魅力の観光地となっています。水陸両用バスでの遊覧や水上自転車など、ダムを拠点として様々な楽しみ方もできます。上流までボートで上ると辿り着く三淵渓谷は、断崖絶壁の景勝地。卯の花姫伝説の残る秘境で水面の美しさが訪れる人の目を奪います。



ながい百秋湖と水陸両用バス



断崖絶壁の景勝地三淵渓谷

緑豊かな森林資源を生かした玩具作りが発端となり、現在は競技用けん玉の生産量が日本一となっています。原木の加工から球の塗装、穴の加工まで、職人たちの高度で洗練された技が、見事な競技用けん玉を作り出しています。令和2年9月にはけん玉が長井市の市技に認定されました。けん玉によるまちづくり活動をさらに推進し、世界との交流や市民の健康づくりを促し、けん玉文化の継承・発展を目指しています。



競技用けん玉の生産日本一

長井市は桜やつつじ、あやめ、はぎ、梅花藻など、四季折々に花々が咲き誇る郷になっています。「花の長井」を象徴し、市章にもなっているあやめは、6月から7月にかけて咲き、長井に初夏の訪れを告げます。古くから長井の人々に愛されてきたあやめ公園には、3.3haの園内に数百種の花菖蒲が咲き誇ります。自然を身近に感じ、四季を様々な楽しみめる、水と緑と花のまち「長井」に是非お越しください。



初夏の訪れを告げるあやめ公園

お問合せ先：観光文化交流課 Tel.0238-82-8017

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

